

SUN なな×ト。

目の前に出来ることがある
だからやる
それが生きる幸せ

フラワータウン市民文化祭実行委員会 委員長
油井 敏之さん
Toshiyuki Yui 狭間が丘



ラジオ・ハニー FM でもっと詳しく聴けます!【2/21 15時 10分~】

「まつりの灯を絶やしてはいけない」「穏やかな笑顔の中に熱い思いをのぞかせるのは油井敏之さん。22年続いた「フラワータウン市民センターまつり」だったが、平成30年、開催の主体が市から地域に移行することが決まり、岐路に立たされた。資金面や運営体制などの課題は多く、皆不安だったが、存続を望む多くの声に背中を押された。「それなら自分たちでつくる文化祭をやろう」と有志が集まり「フラワータウン市民文化祭」として一から企画を見直した。各方面との調整や広報などの事前準備から当日の警備や音響の操作など、初めてのことばかりだったが、運営の全てを自分たちが担った。苦労の連続だったが、皆が知恵と力を出し合い、乗り越えた末に迎えた第1回の市民文化祭は、来場者千人を超す大盛況。仲間との連帯感や達成感に包まれ、喜びも一入だった。コロナ禍でも悩み考え、「少しでもできることを」と諦めることなく、できる範囲で毎年開催。縮小せざるを得なかったが、発表の場を失った地域内の学校の人権標語ポスター展を行うなど、地域貢献のための工夫は忘れなかった。そこには変わらない思いがある。「フラワータウンのみんなが一つの仲間になってもいい」



文化祭実行委員会で共に活動する
まよぐち ままよこ
世倉 恭子さん

今では文化祭開催の中心にいる油井さんだが、実は移住してきた

「今では文化祭開催の中心にいる油井さんだが、実は移住してきた」
「15年前で、地区の中では「新参者」だ。精力的にまちづくりに関わり始めたのは老人クラブに誘われたことがきっかけだった。退職して三田に移住するまでは、営業マンとして全国を飛び回る仕事一筋の人生。「今は地域一筋に第2の人生を満喫している。毎日やんなきゃいけないことがあるのは幸せなこと」と語る油井さん。実行委員会以外にも地域でいくつかの役を兼任し、1日に複数掛け持ちすることも少なくない。原動力は、「ただ、人の役に立てたい」と思う気持ち。地域貢献のカタチは人の数だけあるはず、「フラワータウンは本当に良いまち。文化祭を通じて、長く住んでいる人も新しく来た人も、子どもから高齢者まで、みんなが一つになって活力あるまちになってほしい」と語る笑顔は、愛情に裏打ちされた強さがあった。

消費生活情報



賃貸住宅の契約で後悔しないために・・・



【相談内容】急に転勤が決まり、ネット広告で見つけた賃貸物件を下見することなく契約した。後日引っ越した部屋は、壁紙が剥がれ全体が汚れていた。ネット広告で見たイメージと違うので退去したい。

【回答・アドバイス】原則自己都合で契約を取り消すことはできず、契約時に渡された重要事項説明書と契約書に基づき手続きすることになります。退去に関する条件を確認し、貸主(大家)と交渉してください。

【注意】

- ☑ **契約・入居前:** 物件などの状態を事前に現地で観察し、契約は慎重に行うこと。できれば貸主と一緒に部屋の状態を確認し、キズや汚れがあれば日付入りの写真などで記録する。
- ☑ **入居中:** 日頃から掃除を行い、決められたルールを守る。設備などの不具合が発生したら貸主へ早急に連絡する。
- ☑ **退去時:** 貸主と一緒に部屋の状態を確認。修繕費用を請求された場合は説明を求めること。

三田市消費生活センター(559-5059 FAX 563-8001)
相談受付=月曜~金曜、第2・4土曜 10時~17時
休所の場合は「消費者ホットライン」188

防災・防犯・交通安全



日暮れが早い季節は「空き巣被害」に注意!日頃から対策しましょう

家の周りが暗いと人の目に付きにくく侵入しやすいため、日暮れが早くなると空き巣の被害が増加します。被害の原因として、玄関や窓の鍵を施錠していないことが多いようです。オートロックのあるマンションでも空き巣被害は起こっており、どんなタイプの住宅でも日頃からの対策が大切です。普段から近所で声かけなどを行い、犯罪が起こりにくい地域にしましょう。

■ 空き巣に狙われやすい家

- 家の前の道から玄関や窓が見えにくい
- 植木や塀などで死角になる場所が多い
- バケツや自転車など足場になるものがある

■ 空き巣被害に遭わないための日頃の心がけ

- ☑ **確実に戸締りをする**
短時間の外出でも必ず戸締りし、2階や浴室、トイレの窓も鍵をかけましょう
- ☑ **合鍵を玄関周辺などに置かない**
敷地内であっても郵便受けなどの屋外に合鍵を置かず、鍵は持ち歩くようにしましょう
- ☑ **バケツや自転車など足場になるものを置かない**
- ☑ **地域の目で犯罪を防ぐ**



問い合わせ=三田警察署(563-0110 FAX 562-0110)

共生



手話にチャレンジ! < vol.20 >
「時間」の手話を学ぼう

今月は「時間」の手話第4弾です。手話は聞こえない人・聞こえにくい人とコミュニケーションを図るための第一歩。皆さんも一緒にやってみましょう!

問い合わせ=障害福祉課
(559-5075 FAX 562-1294)

動画を見て
やってみよう!
(「あいさつ」など
も紹介しています)



消防・救急・救命



「119番通報」は
落ち着いて、ゆっくり、冷静に

市消防本部が、昨年1年間で受信した119番通報は6,620件です。通報者の多くが冷静さを失い、住所さえ言えなくなることがあります。1分1秒を争う状況ですが、「落ち着いて、ゆっくり、正確に」状況を伝えることが消防車や救急車を少しでも早く到着させることに繋がります。119番通報時のやりとりは消防からの質問に答える一問一答方式です。その一例を紹介しますので、もしもの有事に備えましょう!

■ 119番通報時の質問内容と回答(例)

1 火事ですか? 救急ですか? 「救急です」	2 住所や目印になる建物を教えてください 「〇〇交差点の歩道」
3 現在の状況を教えてください 「人が倒れています」	4 あなたのお名前と電話番号は? 「消防太郎、079-…」

問い合わせ=消防本部警防課(564-0119 FAX 563-1230)